

あいさつ運動

○いじめのない温かい人間関係を築くために、児童会の取組として「あいさつ運動」を実施している。月曜日の朝、昇降口に児童会の児童が立ち、登校した児童をハイタッチで迎えている。

○児童会本部役員が、毎週木曜日の朝、児童昇降口に立ち、元気なあいさつがえられる学校にしようと『あいさつ運動』に取り組んでいる。あいさつをしたときや、あいさつを返してもらったときの気持ち良さを体験することで、あいさつの輪が広がっている。異学年の児童ともあいさつを交わし合う姿がみられる。

周知・啓発

○全校集会で、児童会役員からいじめ防止強化月間・三重県いじめ防止条例について紹介し、いじめのない学校をみんなで作ることを呼びかけた。

○児童会でクラスの実態や学年間での自分たちの問題について話し合い、いじめ防止の標語を作成・掲示するようにした。全校集会で「いじめを防止するためにあいさつをしたり、助け合ったりしたりしながら、自分の行動をいつも振り返るよう」に呼びかけた。また、最近の学校の様子を伝えした後、標語を廊下や掲示板に掲示した。

文化祭・集会

○全校集会で、児童会役員が友だちとの関わり方について考える題材にするための劇をした。劇の内容は、相手の気持ちや状況を考えずに、きつい言葉がけをしたためお互いが傷つけ合うというものだった。その後、劇をもとにグループで話し合い、全体で意見交流を行った。

○児童会を中心とした全校集会を開き、児童会役員が、いじめ防止月間について伝えるとともに、相手がいじめと感じたらそれはいじめであるという内容の寸劇を披露し、いじめ撲滅を呼びかけた。

人権にかかわる活動

○人権委員会の提案より、「ハッピーシャワー（相手のことを思いやった言葉）の取組」を全校で実践した。言葉については集約し、視覚化も図った。また、日常生活の中での言葉の大切さについて、クラスでも交流した。

○人権委員会の児童が、全校集会で、「仲間はすれにしない」「いじめを見て見ぬふりをしていることもいじめと同じ」という寸劇をして、全校児童に伝えた。

討議等

○児童会を中心に「分かっているのによい行動ができないこと」について、全校討論会を開催した。（11月）課題にそった寸劇を行い、それを見て自分たちの身の回りに同様な経験はないか等、縦割り班で話し合いを進めた。話し合われた内容を全体で交流することで、今後、行動を起こすことの大切さについて、再確認した。

○生活委員会の取組で、11月の生活目標を「友だちを大切にしよう」とした。11月初に、各クラスで、どのように取り組むかを話し合った。

仲間づくり

○児童会で話し合い、「いじめ撲滅キャンペーン」と名付け、縦割り班で昼休みに遊ぶことを決めた。その際、1年から6年までの子どもたちみんなが楽しめるように、遊びやルールを工夫した。

○昼休みを利用して、児童会本部が「学年ドッジボール大会」を企画した。進行は、児童会本部や体育委員で行った。ルールを守って、楽しく、仲良く活動することができた。

その他

○児童会放送給食委員会の取組の1つとして、「悩みごと箱」を校内に設置し、些細な悩み事でも書いてもらうように働きかけ、校内放送で流したりして、悩みを一人で抱え込まないような取組をした。

○児童会で、SOSポストを作成し、いじめられて困っていることや悩んでいること、相談したいことをみんなから集めて悩み事などに対応できるようにした。

○児童会本部から、よりよい学校づくりをする目的で、「みんなの学校～キラキラチェック～」を全校児童に提案した。キラキラチェックとは、児童一人ひとりが安心安全で、楽しく学校生活をおくするために、帰りの会において、「言葉や態度に気をつける」、「友だちとしっかり挨拶する」など、いじめの予防につながるような生活目標をチェックするというものである。

